



リチウムイオン電池 による火災に注意して下さい



リチウムイオン電池は火災の危険性があります

リチウムイオン電池を使用している製品から出火する火災が多く発生しています。昨年は全国で150件発生し過去最多となっています。リチウムイオン電池はエネルギー密度が高いため、過充電や過放電、使用方法を間違えると発熱、破裂、発火と火災の危険性が高くなります。温度の高くなる環境下に放置しないよう注意してください。

リチウムイオン電池とは

リチウムイオン電池とは、充電が可能で繰り返し利用することができる電池で、高電圧で高容量、高出力で軽量という特徴があり、小型で大量の電力を必要とする製品（スマートフォン、ノートパソコン、ゲーム機、加熱式たばこ、モバイルバッテリー等）に使用されています。

リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



※リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表紙されています



右記のマークが「PSEマーク」になります。

リチウムイオン電池が出火する前兆

- 1 リチウムイオン電池が膨らんできた。
- 2 電気機器使用時に異音または異臭がする。
- 3 電気機器の使用時間が短くなる。
- 4 充電が最後までできなくなる。
- 5 充電中に電池が異常に熱くなる。

※上記のような異常があった際には、使用をやめてメーカーや販売店に相談してください。

リチウムイオン電池からの火災を防止するためには

- ・自動車のダッシュボードや直射日光の当たる場所、炎天下に駐車している車内など、高い温度になる場所に放置しないでください。
- ・熱源のそばに放置しないでください。
- ・充電する際は指定された充電器、ACアダプターを使用してください。
- ・高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたり、変形させたりしないでください。
- ・膨張、異音、異臭など異常が生じたものは使用しないようにしましょう。
- ・お住いの地域の回収方法をよく確認し、可燃ごみや不燃ごみなどに混ぜて廃棄するのは絶対にやめましょう。
- ・購入する際は、電気製品が安全性を満たしていることを示すPSEマーク（その電気製品が電気用品安全法で定められた安全規格を満たしていると証明するマークのこと）が付いている製品にしましょう。

釧路北部消防事務組合消防本部
標茶消防署 予防救急課 予防広報係
TEL 015-485-2021